

八学光星は第2日第3試合(21日午後2時開始予定)で6年ぶり3回目の出場となる開星(島根)と、青森山田は第6日第1試合(25日午前9時開始予定)で昨年の選抜高校野球大会優勝校・敦賀気比(福井)と初戦で戦う。

対戦校同士の八学光星・仲井宗基監督(45)と開星・山内弘和監督(40)、青森山田・兜森崇朗監督(36)と敦賀気比・東哲平監督(35)にそれぞれ、試合のキーマンや現在のチーム状態などを聞いた。(兼平昌寛、本田海輝)

開星
山内監督

光星
仲井監督

県勢2監督と対戦校監督が抱負

経験生かし力発揮 先制点を取りたい

—相手チームの印象は。
八学光星・仲井監督 吉川投手は真っすぐに力があり、キレがいいスライダーを投げる力がある。打線は中軸に破壊力があり、手ごわい相手。
開星・山内監督 全国屈指のチーム。打撃はもちろん、小柄ながらいいボールを投げる櫻井投手を中心に守備も鍛えられていると感じる。
—チームの仕上がりは。
開星・山内監督 日に日に良くなっている。1年を通して鍛えてきたことを、本番でミスなくやっていきたい。
—鍵を握る選手は。
仲井監督 ピッチャーの櫻井と、秋の東北大会は不調だったが、ようやく復調



開星戦に向け、意気込みを語る八学光星・仲井監督。19日午後、兵庫県西宮市・津門中央公園野球場

してきた益田。ともに自分のできた力を発揮してくれば勝利はある。
山内監督 1番の近藤と、3番の瀬戸口。相手投手に対応し、自分らしい打球を打ってほしい。
—目指す試合展開は。

仲井監督 展開は考えず、試合の中で状況に応じて戦う。最終的に(相手)を1点上回っていればいい。
山内監督 得点力がないので、チャンスを大事にし、先制点を取りたい。投手・吉川には強力打線を最少失点に抑えてほしい。
—意気込みは。
仲井監督 初戦ほどのチームも自分たちの力を出し切れないことが多い。3年連続出場の経験を生かし、選手が力を最大限発揮できるようにする。全力でいい野球をやりたい。
山内監督 強豪校と試合ができるのはありがたい。1点の重みを感じながら戦い、勝利を手にしたい。